

## あいうえお児童デイサービス

数字は% 平成30年8月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94.1	5.9		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	94.1	5.9		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	87.5	12.5		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	93.7	6.3		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	82.4	17.6		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		64.7	35.3	そのような施設がないので難しいと思う。必要がない。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94.1		5.9	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	94.1		5.9	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	76.5	17.6	5.9	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11.8	58.8	29.4	小学～高等までの幅広い年齢が通所しているので難しいと思う。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	87.5	12.5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93.7	6.3		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	35.3	58.8	5.9	
14 個人情報に十分注意しているか	94.1	5.9			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	41.1	58.9		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35.3	58.8	5.9	行われているかどうかわからない。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	94.1	5.9		支援員さんとの会話が楽しいと言っている。
	18 事業所の支援に満足しているか	94.1	5.9		

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## あいうえお児童デイサービス

数字は% 平成30年8月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			訓練室スペースは46.37㎡あり、快適かつ安全に過ごせるように配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	75	25		配置基準よりも多くの職員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25	75		事業所内は段差がない構造になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			PDCAサイクルについて、職員全員で意識し、支援を行えるよう取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			今後、評価アンケートを継続し、職員で情報共有を行い、業務改善について考えていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			今年度より、ホームページにて公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100			モニタリング時に第三者による外部評価を行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	66.7	33.3		社内研修について、毎年度計画を立て、2か月に一度研修を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			アセスメントシートを使用し、計画作成につなげている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50		50	標準化されたアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			特にチームはないが、職員全員で検討して、実行している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50	50		季節ごとに考えたり、外部の方のイベント活動を取り入れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50	50		子どもの能力、成長に伴い、課題を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75	25		個別活動と集団活動の両面から計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50	25	25	支援開始までに報告事項や役割分担について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25	50	25	終了後、自宅送りの都合でその日のうちに打ち合わせすることは難しいが、翌日に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			正しく記録できているか、管理者が確認するようにする。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			半年に一度、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100			職員全員がガイドラインを意識して支援できるよう打ち合わせ等で徹底していく。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100			送迎時や電話で学校との情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	50	25	25	アセスメント時に主治医やかかりつけ医の確認を行い、利用者台帳に記している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			担当者会議等で情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	75	25		担当者会議等で情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75	25		研修等の情報をもらい、必要に応じて受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25	25	50	現在、そのような機会はない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50		50	積極的に参加はできていないが、協議会からの議事録等で情報収集している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			個別記録にその日の様子を記したり、送迎時や電話連絡により、保護者と共通理解を持てるようにしている。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50	25	25	保護者からの相談には随時応じている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75	25		利用前に、重要事項説明書等により説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			保護者からの相談には随時応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50		50	保護者同士の連携支援は現在できていないが、イベント活動時に保護者の方の参加を呼びかけている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			苦情があれば、迅速かつ適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50	25	25	不定期だが、活動の様子を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100			注意しているが、うっかりミス等ないように職員同士で徹底するよう心がける。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			絵カードやイラストを使ったり、わかりやすいようにひらがなだけで記して伝えたりしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25	25	50	現在、地域の方との交流ができていないので、考えていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100			各マニュアルの策定はしているが、保護者に周知できていない。今後周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75	25		防災設備の点検時等に、避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75	25		職員が虐待防止の研修を受講し、事業所内で職員全員に対し、虐待防止を徹底していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50	25	25	原則、身体拘束は行わないし、現在、身体拘束を必要とする場面がないが、必要となった場合は、組織的に考えていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50	50		アセスメント時に食物アレルギーについての確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50	25	25	事例集の作成ができていないので、今後職員で共有できるようにする。